



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 THECOO株式会社

コード番号 4255 URL <https://thecoo.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役CEO（氏名）平良 真人

問合せ先責任者（役職名）取締役経営企画室長兼メンバーサクセス本部長（氏名）下川 弘樹（TEL）03-6420-0145

半期報告書提出予定日 2024年8月13日 配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	1,991	4.9	△149	-	△151	-	△150	-
2023年12月期中間期	1,898	△4.4	△217	-	△229	-	△431	-

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	△72.27	-
2023年12月期中間期	△208.04	-

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	2,224	273	12.3
2023年12月期	2,367	423	17.9

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 273百万円 2023年12月期 423百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年12月期	-	0.00	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,580	20.0	△400	-	△400	-	△400	-	△192.68

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 中間会計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2024年12月期中間期	2,080,555株	2023年12月期	2,075,955株
2024年12月期中間期	一株	2023年12月期	一株
2024年12月期中間期	2,079,317株	2023年12月期中間期	2,074,137株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

機関投資家及び証券アナリスト向け説明会は、Web形式にて2024年8月16日（金）に開催する予定です。当日使用する決算説明資料に関しては、決算発表後速やかにT D n e tで開示するとともに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間貸借対照表に関する注記)	7
(中間損益計算書に関する注記)	7
(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社は「“できっこない”に挑み続ける」ことを掲げ、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）全盛期の現在、1対Nの時代から大きく変化した、N対Nの潮流をとらえ、Fan（ファン）+Icon（アイコン）（注）を起源とした完全会員制、完全有料制のファンコミュニティプラットフォーム「Fanicon（ファニコン）」を提供するファンビジネスプラットフォーム事業と、祖業であるデジタルマーケティング事業の2つの事業を展開しております。

（注）アーティスト、インフルエンサー、タレント等、ファンコミュニティのオーナーであり、ファンの熱量の対象となるもの

ファンビジネスプラットフォーム事業の市場環境としては、アーティストやクリエイター等が、活動の場をオンラインに求める機運は強く、年々市場が大きく成長しております。

また、当社が想定するファンクラブの市場規模（SAM：Service Available Market）は約1兆6,000億円であり、これは、総務省の「人口推計」と、矢野経済研究所が実施したインターネットアンケート調査「ファンの消費行動」に基づく1人当たりの消費額と潜在層を含めたファン数を基に、当社が想定するファンクラブ市場規模であります。

デジタルマーケティング事業の市場環境としては、株式会社電通の「2023年日本の広告費」によると、2023年のインターネット広告市場は3兆3,330億円、前年比107.8%と引き続き高い成長率で推移し、総広告費に占める媒体構成比は前年比2ポイント増の45.5%に達しており、当社としては今後も同市場は堅調に推移すると予想しております。また、サイバー・バズ/デジタルインファクト調べによる「国内インフルエンサーマーケティングの市場規模推計・予測 2020年-2027年」によると、2024年の国内インフルエンサーマーケティング市場は前年比119.3%の884億円が推計されており、市場規模が拡大しております。

両事業を合わせた市場規模（TAM：Total Addressable Market）は約6兆8,000億円と試算しており、その内訳は、当社想定ファンクラブ市場規模1兆6,000億円（上述）、ライブ・エンターテインメント市場6,295億円（ライブ・エンターテインメント白書より当社推計。ライブ・エンターテインメント市場規模＝音楽コンサートとステージでのパフォーマンスイベントのチケット推計販売額合計と定義）、デジタルコンテンツ市場2兆384億円（経済産業省「コンテンツの世界市場・日本市場の外観」2019年度市場規模より推計。1\$＝100円で試算。音楽（音楽ダウンロード、音楽ストリーミング、広告）、映像（動画配信（SVOD）、動画配信（TVOD）、VRビデオ、広告（動画共有サイト等）、ゲーム（コンソールゲーム、/PCゲーム（ダウンロード）、モバイルゲーム、VRアプリ、VRゲーム、広告）のデジタルコンテンツ市場の合計と定義）、インターネット広告市場2兆6,870億円（株式会社電通の「2023年日本の広告費」で定義される「インターネット広告媒体費」）となっております。

① ファンビジネスプラットフォーム事業

ファンビジネスプラットフォーム事業は、ファンコミュニティプラットフォーム「Fanicon」の提供及び運営管理を行っております。

「Fanicon」はアイコンとそのファンが集い、アイコンとしての「価値」を提供したいアイコン側のニーズと、アイコンと「つながりたい」というファン側のニーズをマッチングさせるプラットフォームです。また、従来のファンクラブとは異なり、ファンコミュニティのオーナーであるアイコンと、そこに属するファンが共にコミュニティを盛り上げ、共感したファン同士も繋がるのが可能なネットワーク効果のある、アイコンとファンのためのサービスです。

Faniconの会員（ファン）はすべて有料会員となっており、ファンビジネスプラットフォーム事業の売上高は、会員より受領するサブスクリプションフィーを売上高として計上するストック型のビジネスモデルとなっております。また、昨今はポイント課金型の売上高も伸びており、安定的、継続的な収入が見込まれております。

会員数を安定的に成長させるためには、新規アイコンの獲得が不可欠です。新規アイコンを獲得するための営業活動は専属チームが継続的に実施しておりますが、一部大型アイコンの獲得に関しては、パートナー企業等の協力を得ており、その結果、コミュニティ開設数は堅調に成長を続けております。

また、アイコンの解約率は、アイコンに対する季節や個人イベントに応じた施策の提案やファン体験の価値を高めるカスタマーサクセスの実施により、前事業年度に引き続き低水準で推移しております。

以上の結果、当事業の売上高は1,457,450千円（前年同期比11.4%増）、セグメント損失は64,640千円（前年同期はセグメント損失136,892千円）となりました。

② デジタルマーケティング事業

デジタルマーケティング事業においては、従業員の育成に力を入れ、サービスの品質向上を図ることで、既存顧客からの継続発注を確保しています。同時に、マーケティングとインサイドセールスの活動を積極的に展開することで、国内外を問わず新規顧客の獲得も進めており、その結果、案件数の増加を実現しています。

この結果、当中間会計期間において当事業の売上高は534,038千円（前年同期比9.5%減）、セグメント損失は84,909千円（前年同期はセグメント損失80,214千円）となりました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は1,991,488千円（前年同期比4.9%増）、営業損失は149,550千円（前年同期は営業損失217,106千円）、経常損失は151,709千円（前年同期は経常損失229,385千円）、中間純損失は150,262千円（前年同期は中間純損失431,512千円）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ142,691千円減少し、2,224,537千円となりました。主な要因は、現金及び預金が143,472千円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ7,294千円増加し、1,951,031千円となりました。主な要因は、買掛金の減少102,500千円、1年内返済予定の長期借入金の減少12,480千円、未払法人税等の増加3,110千円、前受金が119,678千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ149,986千円減少し、273,505千円となりました。主な要因は、中間純損失を150,262千円計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税引前中間純損失148,948千円の計上があったこと等により前事業年度末に比べ143,472千円減少し、当中間会計期間末は1,364,658千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は82,558千円（前年同期は129,159千円の支出）となりました。これは主に未払金の減少30,089千円、前受金の増加119,678千円、税引前中間純損失148,948千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は46,445千円（前年同期は63,297千円の支出）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出43,931千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は14,468千円（前年同期は16,541千円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出12,480千円、リース債務の返済による支出2,264千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月13日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当中間会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,518,130	1,374,658
受取手形及び売掛金	437,017	371,322
商品	3,862	860
その他	54,364	91,890
貸倒引当金	△4,328	△747
流動資産合計	2,009,048	1,837,985
固定資産		
有形固定資産	183,670	168,853
無形固定資産	2,172	45,222
投資その他の資産		
敷金	171,337	171,337
長期未収入金	74,489	74,489
その他	1,001	1,138
貸倒引当金	△74,489	△74,489
投資その他の資産合計	172,338	172,475
固定資産合計	358,180	386,551
資産合計	2,367,229	2,224,537
負債の部		
流動負債		
買掛金	700,536	598,035
1年内返済予定の長期借入金	16,800	4,320
未払金	160,486	131,062
未払法人税等	5,360	8,470
前受金	882,012	1,001,690
賞与引当金	1,335	2,070
その他	93,236	123,537
流動負債合計	1,859,766	1,869,187
固定負債		
繰延税金負債	1,412	1,375
資産除去債務	78,044	78,257
その他	4,513	2,211
固定負債合計	83,970	81,844
負債合計	1,943,736	1,951,031
純資産の部		
株主資本		
資本金	759,128	759,266
資本剰余金	949,022	949,160
利益剰余金	△1,284,658	△1,434,921
株主資本合計	423,492	273,505
純資産合計	423,492	273,505
負債純資産合計	2,367,229	2,224,537

(2) 中間損益計算書
(中間会計期間)

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,898,676	1,991,488
売上原価	1,124,463	1,174,647
売上総利益	774,213	816,840
販売費及び一般管理費	991,320	966,390
営業損失(△)	△217,106	△149,550
営業外収益		
受取利息	9	7
広告収入	29	944
為替差益	-	103
その他	144	944
営業外収益合計	183	2,000
営業外費用		
支払利息	433	159
貸倒引当金繰入額	11,775	-
為替差損	252	-
営業外支払手数料	-	2,000
雑損失	-	2,000
その他	-	1
営業外費用合計	12,461	4,160
経常損失(△)	△229,385	△151,709
特別利益		
固定資産売却益	-	2,761
新株予約権戻入益	38	-
特別利益合計	38	2,761
特別損失		
減損損失	10,779	-
特別調査費用	190,732	-
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	201,511	0
税引前中間純損失(△)	△430,858	△148,948
法人税、住民税及び事業税	1,351	1,351
法人税等調整額	△697	△36
法人税等合計	653	1,314
中間純損失(△)	△431,512	△150,262

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純損失(△)	△430,858	△148,948
減価償却費	18,411	18,740
減損損失	10,779	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,542	△3,580
受取利息及び受取配当金	△9	△7
支払利息	433	159
固定資産除却損	-	0
固定資産売却益	-	△2,761
新株予約権戻入益	△38	-
特別調査費用	190,732	-
売上債権の増減額(△は増加)	204,894	65,695
棚卸資産の増減額(△は増加)	△787	3,002
仕入債務の増減額(△は減少)	△93,608	△102,500
前受金の増減額(△は減少)	6,844	119,678
未払金の増減額(△は減少)	49,718	△30,089
その他	△56,927	905
小計	△104,957	△79,708
利息及び配当金の受取額	8	6
利息の支払額	△433	△159
法人税等の支払額	△2,697	△2,697
特別調査費用の支払額	△21,079	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△129,159	△82,558
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,498	△2,376
無形固定資産の取得による支出	△3,163	△43,931
その他	△46,635	△137
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,297	△46,445
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△14,560	△12,480
リース債務の返済による支出	△2,228	△2,264
株式の発行による収入	247	276
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,541	△14,468
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△208,998	△143,472
現金及び現金同等物の期首残高	1,832,762	1,508,130
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,623,763	1,364,658

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間貸借対照表に関する注記)

※ 前中間会計期間において、当社元従業員3名が行った不適切発注に関連した長期未収入金に対して全額貸倒引当金を計上しております。

(前事業年度)

長期未収入金 74,489千円

貸倒引当金 △74,489千円

(当中間会計期間)

長期未収入金 74,489千円

貸倒引当金 △74,489千円

(中間損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
給与手当	347,945千円	416,246千円
減価償却費	18,411 "	18,283 "
貸倒引当金繰入額	△4,259 "	△3,580 "

※2 前中間会計期間において、不適切発注事案に関連して発生した独立調査委員会等による調査費用等を特別調査費用として計上しております。

(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
現金及び預金	1,633,764千円	1,374,658千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△10,000 "	△10,000 "
現金及び現金同等物	1,623,763千円	1,364,658千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			中間 損益計算書 計上額
	ファンビジネス プラットフォーム 事業	デジタル マーケティング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,308,804	589,872	1,898,676	1,898,676
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-
計	1,308,804	589,872	1,898,676	1,898,676
セグメント損失(△)	△136,892	△80,214	△217,106	△217,106

(注) セグメント損失の合計は、中間損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ファンビジネスプラットフォーム事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を10,779千円計上しております。

II 当中間会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			中間 損益計算書 計上額
	ファンビジネス プラットフォーム 事業	デジタル マーケティング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,457,450	534,038	1,991,488	1,991,488
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-
計	1,457,450	534,038	1,991,488	1,991,488
セグメント損失(△)	△64,640	△84,909	△149,550	△149,550

(注) セグメント損失の合計は、中間損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。